

むつ中間貯蔵設計認終了

RFS、工事本格実施へ

むつ市で使用済み核燃料中間貯蔵施設を運営するリサイクル燃料貯蔵(RFS)は16日、詳細設計の認可設計工認)に、同日付で原子力規制委員会から2回目の認可を受けたと発表した。申請は約1年半を要した。序盤で申請対象設備の記載漏れなど不備があり、審査が長引く要因となった。

審査では、高さ23mの「仮想的な大規模津波」の影響を巡って議論。RFSは津波が襲来しても施設の損傷は一部にとどまり、仮に落下物があっても使用済み燃料を収納する金属容器「キャスク」の機能は維持される。RFSは安全対策工事の本格実施と併せ、使用前検査など残りの手続きに入る見込み。

2021年9月に初回分の設計認を申請。認可まで約1年半を要した。序盤で申請対象設備の記載漏れなど不備があり、審査が長引く要因となった。

審査では、高さ23mの「仮想的な大規模津波」の影響を巡って議論。RFSは津波が襲来しても施設の損傷は一部にとどまり、仮に落下物があっても使用済み燃料を収納する金属容器「キャスク」の機能は維持される。RFSは安全対策工事の本格実施と併せ、使用前検査など残りの手続きに入る見込み。

2021年9月に初回分の設計認を申請。認可まで約1年半を要した。序盤で申請対象設備の記載漏れなど不備があり、審査が長引く要因となった。

核燃新税 本格審議に

国の地財審むつ市の譲歩評価

むつ市が導入を目指して3月末に総務相へ申請した使用済み核燃料(核燃新税)の「大臣協議」を巡り、有識者でつくる国の地方財政審議会の議論がようやく本格審議に移行した。納税を義務付けられる事業者と市の主張の対立が影響して審議が長期化し、判断する目

「標準処理期間」3カ月を既に過ぎた。一方で地財審は今年2月の会合で、「事業者の理解を得よう努めている」と市の譲歩する姿勢を評価。審議は進展をみせ、同日19日は税負担が過重かどうかを判断する「3要件」の議論が開始された。

使用済み核燃料をむつ市内で一時保管する中間貯蔵施設は、親会社の東京電力と日本原子力発電が出資する「リサイクル燃料貯蔵(むつ)市(RFS)」が運営する。市は貯蔵する使用済み核燃料に課税するため、国に協議を申請。総務相は地財審の意見を聴いた上で

RFSの設計認申請分全て認可

リサイクル燃料貯蔵(むつ)市(RFS)は16日、同市に建設中の使用済み核燃料中間貯蔵施設の安全対策工事に必要な「設計・工事計画の変更認可」(設計認)について、原子力規制委員会から認可を受けたと発表

RFSは、使用済み核燃料中間貯蔵施設の暫定的な事業開始見込みを「2023年度」としているが、RFSの担当者は取材に対し、今後控える「保安規定の変更認可」の見通しが立った時点で事業開始時期を見極める一との方針をあらためて示した。(山内はるみ)

2022/8/17 東奥日報

大間原発建設反対 3年ぶり現地集会

大間原発建設に反対する市民団体など、3年ぶり現地集会を開いた。大間原発敷地に隣接する町民の共有地である3年ぶりに現地集会を開いた。

大間原発敷地に隣接する町民の共有地である3年ぶりに現地集会を開いた。

大間原発敷地に隣接する町民の共有地である3年ぶりに現地集会を開いた。

2022/8/17 デーリー東北

大間原発建設中止を 反対派、3年ぶり現地集会

大間原発反対現地集会が、県内外から約2000人、31日、大間の同原発敷地に隣接する反対派の「二坪源開発(ジャパワ)」が進める同原発の建設や核燃料サイクル、全国各地の原発再稼働の中止を訴えた。

大間原発反対現地集会が、県内外から約2000人、31日、大間の同原発敷地に隣接する反対派の「二坪源開発(ジャパワ)」が進める同原発の建設や核燃料サイクル、全国各地の原発再稼働の中止を訴えた。

むつ・核燃新税の概要と見解

【概要】 貯蔵する使用済み核燃料のウラン重量1キログラムあたり620円、税収見込みは5年間約5億8千万円
【むつ市】 実質的な負担者の親会社の売上高に対する税負担は著しく過重とは言えず、電気料金に転嫁されても年0.3円程度の負担増で住民負担も著しく過重とは言えない(3月)
【RFS】 親会社から具体的な搬入計画が示されていないことから収支計画等を策定できておらず、新税が経営に与える影響を見極められない(3月)
【地財審】 本来は課税について理解が得られていることが望ましいが、市は特定納税義務者(RFS)と計43回の協議を行い、当初案から税率を見直すなど理解を得よう努めていると考えられる(今日2日)

同意、不同意を判断する。非公開で6回実施。市とRFSの対立が要因で「丁寧」とが望ましい」としつつ、

2022/8/26 東奥日報

2022/8/1 東奥日報

共創会議設置 国に要望へ

原子力施設立地する下北4市町村長は、北半島のむつ、大間、六ヶ所、東通の4市町村長は19日、立地地域の将来像を議論する「共創会議」の立ち上げを国に要望する方針を申し合わせた。

原子力施設立地する下北4市町村長は、北半島のむつ、大間、六ヶ所、東通の4市町村長は19日、立地地域の将来像を議論する「共創会議」の立ち上げを国に要望する方針を申し合わせた。

2022/8/1 デーリー東北

共創会議設置 国に要望へ

原子力施設立地する下北4市町村長は、北半島のむつ、大間、六ヶ所、東通の4市町村長は19日、立地地域の将来像を議論する「共創会議」の立ち上げを国に要望する方針を申し合わせた。

原子力施設立地する下北4市町村長は、北半島のむつ、大間、六ヶ所、東通の4市町村長は19日、立地地域の将来像を議論する「共創会議」の立ち上げを国に要望する方針を申し合わせた。

2022/7/20 デーリー東北

共創会議 立ち上げを 要望する

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

2022/7/20 デーリー東北

共創会議 立ち上げを 要望する

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

2022/7/20 デーリー東北

共創会議 立ち上げを 要望する

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

2022/7/20 デーリー東北

共創会議 立ち上げを 要望する

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会

「共創会議」立ち上げを要望することを申し合わせた4市町村長談話会